

彩の国 男声コーラス フェスティバル 加藤良一 武田雅博先生をお迎えして桶川で開催

今年は「マスクなし、懇親会あり」で彩の国男声コーラスフェスティバルが開催できるかもしれません。大いに期待しましょう。

9月24日(日)／響の森 桶川市民ホール

I. フェスティバル合唱団練習会10:00～

① 谷川俊太郎詩/信長貴富作曲「言葉は」

② W.B. Yeats詩・林望訳詩/上田真樹作曲「酒頌」

II. 演奏会12:30～17:00

通算
32回

埼玉県が1990年8月に立ち上げた「おとうさんコーラス大会」はその後関東支部主催の「関東おとうさんコーラス大会」へと拡大し、関東各支部を一巡したところで埼玉主催の「彩の国男声コーラスフェスティバル」へと脈々と受け継がれてきました。今年で34年になりますが、コロナ禍で2度の中止がありましたので通算32回目となります。入場は無料です。

会場の桶川市民ホールは、JR高崎線桶川駅すぐそばです。湘南新宿ラインを利用すると小田原(神奈川)から高崎(群馬)まで一本に繋がっておりとても交通の便が良いところです。

合同演奏は「言葉は」「酒頌」

昨年に引き続き、講師に武田雅博先生をお迎えし、信長貴富「言葉は」と上田真樹「酒頌」を合同演奏します。

連盟加盟の有無は問いません。さらに、男声合唱団以外にも数団体募集しています。「言葉は」はカワイ出版よりピースとして出版されており、「酒頌」は《彩のうたII》(埼玉県合唱連盟発行)に載っています。



2022年の合同演奏

原則6名以上、ピアノあり、演奏時間7分以内。団体参加料1万円(高校はなし)、個人参加費は大人1500円/高校生以下500円です。

申込受付は先着25団体ほど、締め切りは6月23日(金)必着、詳細は埼玉県合唱連盟ホームページでご確認ください。今年こそ心おきなく合唱を味わえるフェスティバルが開かれることを祈っています。2022年大会の様子は上の画像をクリックするとご覧になれます。



2022年司会：加藤良一(左)、蓮沼喜文(右)

～講師プロフィール～ 武田雅博 (合唱指揮者)

1953年東京生まれ。国立音楽大学教育音楽学科卒業。1977年ウエストミンスター・クワイヤ・カレッジにて研修、合唱指揮法最優秀ディプロマを取得。岡本敏明、小山章三、萩原英彦、デニス・シュルクの各氏に師事。全国各地での合唱講習会、指導者講習会、全日本合唱連盟ならびにNHK全国学校音楽コンクールで、講師・審査員を数多く担当。NHK・Eテレ「スーパー合唱教室」講師、Nコン課題曲の放送初演指揮者を歴任。『短時間でうまくなる合唱指導』(音楽之友社)著。『おもしろ合唱事典』(音楽之友社)著。『合唱のための実践練習書』(ヤマハミュージックメディア)共著。『歌いつく日本のうた』(教育芸術社)監修。他、編著、CD、DVDなど多数。国際合唱連合(IFCM)、日本演奏連盟、日本合唱指揮者協会、各会員。



男声合唱フェスティバルの歴史

全国にはいくつもの「男声合唱大会」があります。最古の大会は1973年に始まった日本男声合唱協会JAMCAの日本男声合唱協会演奏会です。それから17年後の1990年埼玉のおとうさんコーラス大会と青森の青森県男声合唱フェスティバルが始まりました。1995年神奈川県男声合唱協会演奏会、1999年バックスフェスタ・関西男声合唱祭、男の合唱まつりinみやぎ、2001年東京男声合唱フェスティバル、2010年全日本男声合唱フェスティバル、最近では2022年に静岡県男声合唱フェスティバルが旗揚げしました。

これら以外の大会も含め各地の大会の歴史や特徴を『全国主要男声合唱大会総覧』として以下に公開しています。

http://rkato.sakura.ne.jp/music/zenkoku_danfes_souran.html

Amazon出版の《男声合唱は、いま！ 多田武彦先生追悼集》(加藤良一著)にも掲載しています。